

事務事業評価における総括

部 局 名	教育総務部	記入責任者	岸 宏司
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>教育総務部の業務計画に位置付けた事業では、31 事業のうち 30 事業で指標を達成し、S 評価としていることから、おおむね順調に進捗しています。しかし、小学校敷地底地整理事業についてはA評価となりました。また、業務計画以外の事業において、C評価としたものが5事業、実績なしと評価したものが5事業あることから、政策・施策目標の達成に向けて、再度事業の見直しを行う必要があります。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>A 評価とした小学校敷地底地整理事業については、隣接関係権利者との調整や敷地内道水路敷の廃止・付け替え等を地道に継続しており、成果は今後見込めるとしています。</p> <p>業務計画以外の事業で、C評価とした5事業のうちの4事業である、中学校大規模改修整備事業、中学校敷地底地整理事業、学校施設利活用検討事業及び中学校グラウンド（一校）拡張事業については、現時点では、関係課等との調整を今後も進めるものとします。残りのC評価とした1事業である保健室の備品購入に係る事務（小学校）については、同じ予算枠の給食調理場に係る備品を緊急的に購入しなければならなかったためであり、今後は、限られた予算の中で計画的に購入していくことから、成果は今後見込めるとしています。また、実績なしの事業のうち、給食調理場関連の事業については、今後、財政部局と協議し、必要な予算を要望していきます。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>順調に進捗している事業については、引き続き継続して進めていきます。</p> <p>教育施設課においては、（仮称）教育施設等再整備基本方針や教育施設の大規模改修など業務計画に位置付けた事業の一部に遅れが出ていることから、平成30年度の事業の実施に向けた準備作業を進めていきます。</p> <p>また、学務課においては、課題である給食場調理場のエレベーター改修や整備事業について、喫緊の課題であることから、計画的に予算を確保し、順次取り組んでいきます。</p>			